

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月25日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住所 茨城県結城市新堤仲通り 1－1

氏名 アルテミラ製缶株式会社結城工場

工場長 稲見 健一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0296-33-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	アルテミラ製缶株式会社 結城工場
事業場の所在地	茨城県結城市新堤仲通り 1－1
事業の種類	非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,032.110 t	全処理委託量	1,032.110 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	995.387 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,032.110 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄

（日本工業規格 A列4番）



(産業廃棄物の種類： 廃油)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

②

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

排出量

①

718. 290

自ら直接埋立処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

718. 290

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

692. 760

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

712. 690

項目	実績値
①排出量	718. 290
②+③自ら再生利用を 行った量	0. 000
⑤自ら熱回収を行った量	0. 000
⑦自ら中間処理により減 量した量	0. 000
③+④自ら埋立処分又は 海洋投棄処分を行った量	0. 000
⑩全処理委託量	718. 290
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	712. 690
⑫再生利用業者への処理 委託量	692. 760
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0. 000
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0. 000

(産業廃棄物の種類： 汚泥)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

②

⑧

自ら中間処理した後
再生利用した量

0

排出量

自ら直接埋立処分した量

①

③

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

302. 830

項目

実績値

①排出量

604. 630

②+⑧自ら再生利用を
行った量

0. 000

⑤自ら熱回収を行った量

0. 000

⑦自ら中間処理により減
量した量

0. 000

③+⑨自ら埋立処分又は
海洋投棄処分を行った量

0. 000

⑩全処理委託量

604. 630

⑪優良認定処理業者への
処理委託量

538. 690

⑫再生利用業者への処理
委託量

302. 830

⑬熱回収認定業者への処
理委託量

0. 000

⑭熱回収認定業者以外の処
理委託量

0. 000

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

604. 630

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

538. 690

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑬

0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

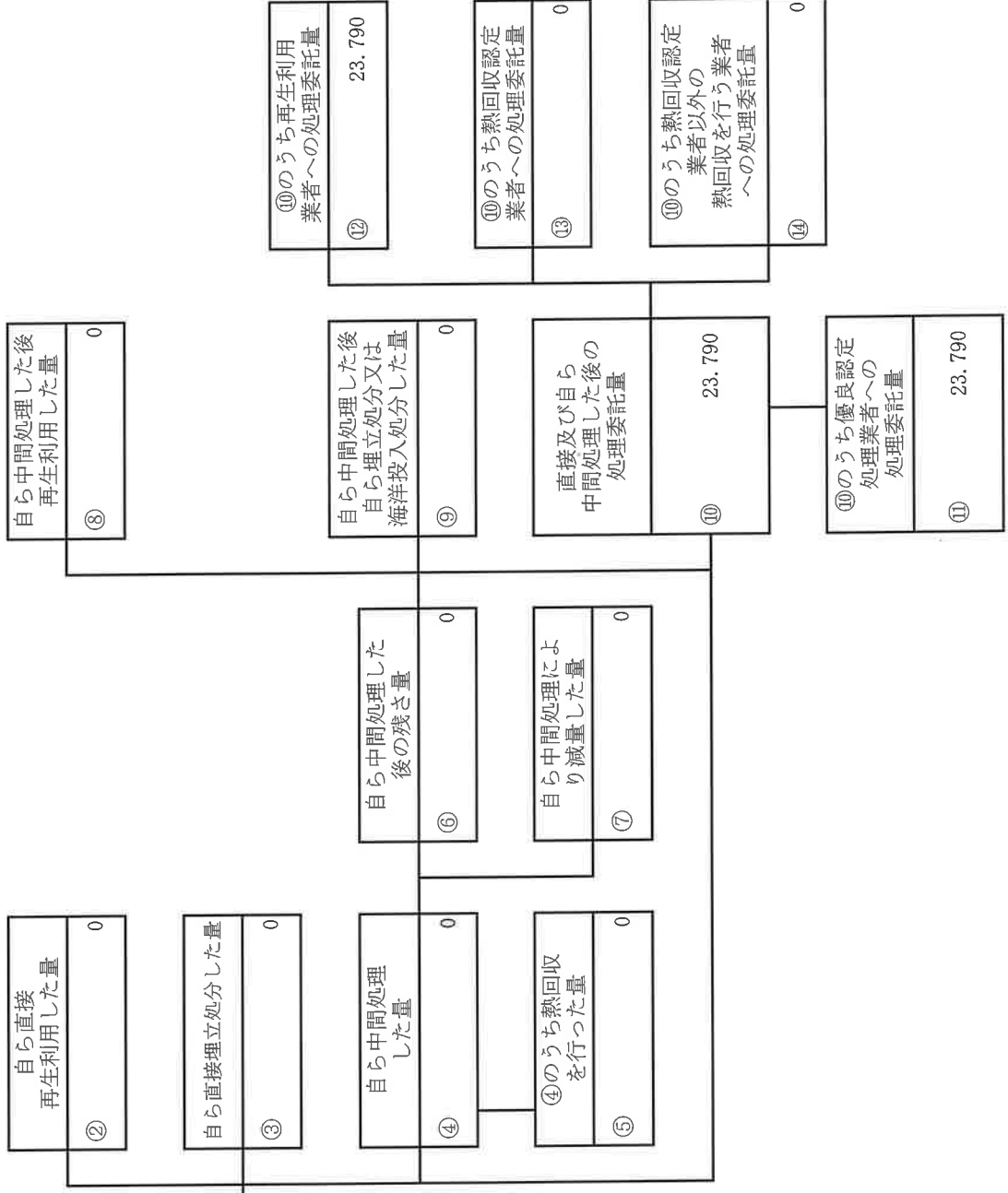
⑭

0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	
①	23.790
項目	実績値
①排出量	23.790
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	23.790
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.790
⑫再生利用業者への処理委託量	23.790
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000



(産業廃棄物の種類： 引火性廃油)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

②

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら直接埋立処分した量

③

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

13. 140

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

13. 140

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

13. 140

排出量

①

13. 140

項目

実績値

①排出量

13. 140

②+③自ら再生利用を
行った量

0. 000

⑤自ら熱回収を行った量

0. 000

⑦自ら中間処理により減
量した量

0. 000

③+⑨自ら埋立処分又は
海洋投棄処分を行った量

0. 000

⑩全処理委託量

13. 140

⑪優良認定処理業者への
処理委託量

13. 140

⑫再生利用業者への処理
委託量

13. 140

⑬熱回収認定業者への処
理委託量

0. 000

⑭熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量

0. 000

(産業廃棄物の種類： 木くず)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

①

1.780

②

0

③

0

④

0

⑤

0

⑥

0

⑦

0

⑧

0

⑨

0

⑩

1.780

⑪

1.780

⑫

1.780

⑬

0

⑭

0

項目	実績値
①排出量	1.780
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0.000
⑤自ら熱回収を行なった量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行なった量	0.000
⑩全処理委託量	1.780
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.780
⑫再生利用業者への処理委託量	1.780
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

自ら中間処理した後の残さ量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 1.780

⑬ 0

⑭ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑪ 1.780

⑫ 0

⑬ 0

⑭ 0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 1.780

⑫ 0

⑬ 0

⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 (石綿))

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

②

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

排出量

①

0.010

自ら直接埋立処分した量

③

0

実績値

①排出量

0.010

②+⑧自ら再生利用を
行った量

0.000

⑤自ら熱回収を行った量

0.000

⑦自ら中間処理により減
量した量

0.000

③+⑨自ら埋立処分又は
海洋投棄処分を行った量

0.000

⑩全処理委託量

0.010

⑪優良認定処理業者への
処理委託量

0.010

⑫再生利用業者への処理
委託量

0.000

⑬熱回収認定業者への処
理委託量

0.000

⑭熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量

0.000

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.010

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.010

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.010

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。